このコラムは、日本語の仕組みや使い方などを考えるコーナーです。
どうぞ、コーヒータイムのときにでも、お読み下さい。

ことばのコラム　ひとくちメモ（２７５）

揺・謡

夕食のあと、タモツ君のおばあさんがおじいさんと話しています。

「常用漢字表には、揺籃（ようらん）・動揺の揺と謡曲・童謡の謡がありますから、坪内逍遙のヨウも遥と書くほうが、読み手にとっては、連想がしやすいのでしょうか。」

「うん。音はヨウで、テヘンかゴンベンかシンニュウかの違いだとまとめておくほうが覚えやすいのかもしれない。」

「先程、常用漢字表外だからっておっしゃいましたが、手回りの辞書では、目的もなく山野を歩くことという意味のショウヨウには逍遥の字があてられているようですよ。」

「そう。新聞や雑誌だけでなく国語辞典でも、常用漢字表になくても人名用漢字だと、略体をあてているようだね。22 字以外の拡張新字体は避けようというのが、平成 22 年 11 月 30 日告示の新しい常用漢字表の制定のときの流れだったようだけれど……。」

表外漢字	表外漢字字体表	簡易慣用字体
常用漢字表（または当用漢字表）に含まれていない漢字のこと。表外字とも言う。	平成 12 年 12 月 8 日 第 22 期国語審議会から文部大臣に答申	表外漢字字体表の 一．前文 に明記
	新表外漢字のうち、新聞や辞典などの印刷物に使用する文字において、常用漢字とともに使われることが比較的多いと考えられる（1 字体に限り、印刷文字において標準とすべき字体を示したもの。（＝印刷標準字体）	印刷標準字体のうち、印刷標準字体と入れ替えて使用しても基本的には支障ないと判断し得る印刷文字字体 （例：唖（ア）（唖）など） 印刷標準字体　簡易慣用字体
字種では 5000 字近く	1022 字	22 字

簡易慣用字体は、いわゆる「拡張新字体」だ。
でも、拡張新字体は国の告示や答申で示されたものではないんだ。
遙を遥と表すのは、表外漢字字体表の簡易慣用字体では示されていないんだよ。

※拡張新字体については次のコラム（NO. 276）を参照してください。

【編集部注】平成 12 年 12 月 8 日に第 22 期国語審議会から文部大臣に答申された 1022 字の「表外漢字字体表」には、平成 22 年の常用漢字表の告示に伴い、唖頴鴎撹麹鹸噛繍蒋醤曽掻痩祷屏并桝麺沪芦蝋弯の 22 字の簡易慣用字体が（　）に包まれて示されています。なお、沪は濾過の濾の簡易慣用字体です。